

マツダ 車種の系譜・・・その車は、どの流れの何代目か

横＝年代（図解①と同じ目盛り）／縦＝7つの系統。名前が数字に変わった時期があるので、系統で追うのがコツです。

ロータリーの流れが一度途切れ、2023年に発電機として戻ってきています。図解①の危機のレーンと見比べてください。

	～1920s 創業期	1930s 戦前	1940s 戦中戦後	1950s 再建	1960s 大衆化	1970s 規制	1980s 世界へ	1990s 転機	2000s 再編	2010s 立て直し	2020s 電動化
小型・大衆 街の足になる流れ					1960 R360クーペ 四輪の第一号（軽） 1963 ファミリア 長く続く柱			1996 デミオ 小型車の顔に		2019 MAZDA2に改名 中身は続いている	2020s 現行 ⌚
セダン・上級 大人向けの流れ					1966 ルーチェ	1970 カペラ			2002 アテンザ 2003 アクセラ	2019 MAZDA6／MAZDA3 に改名	2020s MAZDA3が主力 ⌚
ロータリー この会社だけの流れ					1967 コスモスポーツ 世界初の量産2ローター	1978 サバンナRX-7 会社を立て直した一台		1991 ル・マン制覇 787B	2003 RX-8 4ドアのロータリー	2012 生産終了 流れが一度途切れる	2023 発電機として復活 MX-30 R-EV ⌚
スポーツ・オープン 会社の看板							1989 ロードスター 初代 軽く小さく安く	1998 2代目	2005 3代目	2015 4代目	2020s 現行が継続 ⌚
SUV いまの主力									2000 トリビュート 2006 CX-7	2012 CX-5 会社を立て直した一台 2015 CX-3	2022 CX-60 上級路線へ ⌚
商用 出発点の流れ		1931 マツダ号DA型 自動車メーカーの第一歩			1966 ボンゴ	1971 タイタン					2020s 他社からの供給に ⌚
電動化・技術 これからの流れ					1961 ロータリーの提携 すべての起点					2011 SKYACTIV ハイブリッドに頼らない 燃費 2019 MX-30 EV	2023 MX-30 R-EV ロータリーで発電 ⌚

いちばん長い流れ

ファミリアからデミオ、MAZDA2へ。名前は変わっても、街の足としての小型車は一度も途切れていません。会社を支え続けてきた流れです。

中古車を見るとき使い方

名前が数字に変わった時期があります（デミオ→MAZDA2）。中古サイトで探すときは古い名前でも検索してください。同じ車が別の名前で並んでいることがあります。

ロータリー車の注意

RX-7・RX-8は独特の整備が必要です。憧れだけで買くと維持で苦労します。扱える工場を先に見つけてから、車を探してください。